

I. らい病は、人の内側から出て来る重大な罪を表徴します。例えば、故意の罪、僭越の罪、決意して神に反対することなどです:

レビ13:2 ある人の肉の皮膚に腫物、あるいは吹き出物、あるいは光る斑点があり、それが…らい病の患部となるなら、彼を祭司アロンか、彼の子たちである祭司の一人の所へ連れて行かなければならない。3…患部にある毛が白く変わり、患部の現れが肉の皮膚よりも深い場合、それはらい病の患部である。祭司はその人をよく見て、彼を汚れていると宣告しなければならぬ。

- A) ミリアム、ゲハジ、ウジヤの事例において見られるように、らい病は、神の権威に対する、神の代理権威に対する、神の規則に対する、神のエコノミーに対する反逆に起因します。
- B) 聖書の中の意味において、罪は反逆です。こういうわけで、らい病は罪を表徴します。
- C) 聖書における罪の第一の事例は、神に対するサタンの反逆でした。このゆえに、反逆の罪は、反逆的な天使長ルシファーによって発明され、開始されました。
- D) 最終的に、この罪、このらい病は、アダムを通して人類の中へと入りました。罪は人の中へと入って、人の内側から多くの種類の罪として、すなわち反逆の多くの現れとして出て来ます。
- E) このゆえに、らい病の人はアダムの墮落した子孫を表します。彼らはみな、らい病の人です。らい病のしるしとして、人の肉の皮膚にある腫れ物、吹き出物、光る斑点が表徴するのは、気ままであることにおける、他の人との不和における、高ぶりと自己を高く上げることにおける人の外側の表現です。
- F) レビ記第13章24節から25節の状態が表徴するのは、救われた人の肉による行ないが、すなわち、短気を起こすこと、自分を義とすること、人を赦そうとしないことが、霊的ならい病のしるしであるということです。

レビ13:24 あるいは、肉の皮膚に火によるやけどがあつて、そのやけどによる生肉が赤みを帯びた白色、または白色の光る斑点になるなら、
25 祭司はそれをよく見て、もし光る斑点にある毛が白く変わっており、その現れが皮膚よりも深いなら、それはらい病である。それはやけどに出て来たのであり、祭司はその人を汚れていると宣告しなければならぬ。それはらい病の患部である。

II. レビ記第14章のらい病の人の清めが描写するのは、神がキリストの中で私たちのために用意し成就した、豊富で、全体的な、広範囲の救いです。キリストはこの救いの中で、多くの手順を経過したすべてを含む方であり、また私たちが自分の清めのために必要とするすべてです:

A) 「レビ14:4 祭司はその清められるべき者のために、二羽の生きている清い鳥と香柏の木と緋色の撚り糸とヒソブとを取って来るように命じなければならない。5 祭司は、一羽の鳥を土の器の中で、流れ水の上で殺すように命じなければならない。6 生きている鳥については、それと香柏の木と緋色の撚り糸とヒソ

ブとを取って来て、それらと生きている鳥を、流れ水の上で殺した鳥の血の中に浸さなければならない。7 祭司はそれを、らい病から清められるべき者の上に七たび振りかけて、その人を清いと宣告しなければならない。それからその生きている鳥を野原に放たなければならない」:

①二羽の生きている清い鳥は、キリストの予告です。キリストは清く、どのような汚れもなく、命に満ちており、地上を飛ぶことができます。この鳥は、キリストが天から来て、天に属し、地を超越していることを表徴します。

②殺された鳥は、十字架につけられたキリストを表徴します。彼は私たちのために死んで、私たちの汚れが取り去られるようにしました。

③野原に放たれた第二の鳥は、復活したキリストを表徴します。彼は私たちのために死人の中から復活し、私たちが彼の復活の命(神の神聖な、永遠の、非受造の命)の力、強さ、活力によって、私たちの弱さから救い出されるようにします。

④香柏の木は、イエスの尊い引き上げられた人性を表徴します。この人性は、彼が私たちの救い主となることができるようにします。ヒソブは最も小さい植物の一つであり、主イエスが進んで低くなり、「人の姿になられ」たことを表徴します。それは彼が人に近くなり、人の救い主となるためでした。緋色は暗い紅色であつて、血を流すことを表徴し、また王職を暗示します。

⑤このすべてが表徴するのは、主が私たちがらい病から清めるために、ご自身を低くして、標準は高いが身分は低い人となったということです。それは、彼が神のみこころを行ない、十字架上で彼の血を流して私たちに贖い、それによって彼の復活の中で栄光を現して、尊く高い王となるためでした。

⑥らい病がいやされている者は、神の御前に清められることを求める必要がなおありました。この事が表徴するのは、らい病の罪の病にある者が、内側にある神聖な命によっていやされていても、彼の欠点と汚れが神の御前に対処されて、清められる必要がなおあるということです。私たちが清められることを求めるのは、神の恵みと愛と協力することです。

⑦土の器はイエスの人性を表徴し、生ける水は神の生ける永遠の霊を表徴します。鳥が土の器の中で、生ける水の上で殺されることが表徴するのは、主イエスが彼の人性の中で死を経過し、彼の内側にあった永遠の生ける霊を通して、ご自身を神にささげたということです。ヘブル9:14 まして、キリストが永遠の霊を通して、傷のないご自身を神にささげられたその血は、なおさら私たちの良心をきよめて、死んだわざから離れさせ、生ける神に仕えるようにさせないでしょうか?

⑧レビ記第14章6節から7節に記録されている事が表徴するのは、人が主の完全な贖いによって、客観的に地位において清められるということだけではありません。またこの事が表徴するのは、人が主の完全な贖いによって、主観的に聖霊の中で、主の尊い、引き上げられたが、へりくだった人性の

中で血を流した彼の苦難を経験するということでもあり、また彼の死、復活、昇天、栄光を現すことを経験するということでもあります。これらの事はすべて、二羽の鳥、香柏の木、ヒソブ、緋色の撚り糸の意義において暗示されています。

レビ14:6 生きている鳥については、それと香柏の木と緋色の撚り糸とヒソブとを取って来て、それらと生きている鳥を、流れ水の上で殺した鳥の血の中に浸さなければならない。7 祭司はそれを、らい病から清められるべき者の上に七たび振りかけて、その人を清いと宣告しなければならない。それからその生きている鳥を野原に放たなければならない。

⑨ 殺された鳥の血を、清められるべきらい病の人の上に振りかけることが表徴するのは、キリストの流した血が、罪人である私たちの上に振りかけられたということです。この振りかけることが、私たちが贖い主であるキリストに結び付けます。血を七たび振りかけることは、主の血の清めが完全であることを表徴します。1ヨハネ1:9 もし、私たちが自分の罪を告白するなら、神は信実で義であられるので、私たちの罪を赦し、すべての不義から私たちを清めてくださいます。

⑩ キリストの昇天は、生きている鳥が空中に舞い上がることで表徴されます。生きている鳥を野原に放つことが表徴するのは、生けるキリストが清められた罪人にキリストの死と復活を経験させるだけでなく、彼の昇天をも経験させるということです。(3日&4日)

B) らい病の人を清めるためにその人の毛をそることが表徴するのは、からだの敵である自己という困難を対処することです。かみそりは十字架を表徴します：レビ14:8 清められるべき者は、自分の服を洗い、すべての毛をそり落とし、水に浸って、清くならなければならない。その後、彼は営所に入ることができるが、七日間は自分の天幕の外に住まなければならない。9 七日目に、彼はすべての毛をそり落とさなければならない。頭も、髭も、まゆ毛も、すべての毛をそらなければならない。そして自分の服を洗って、自分の肉を水に浸さなければならない。そうすれば彼は清くなる。

① 頭髮は、人の栄光を表徴します。あらゆる人は特定の領域において自分の誇りを持っています。ある人は自分の家柄を誇り、ある人は自分の教育を誇り、ある人は自分の美德を誇り、ある人は主に對する自分の愛の熱心さを誇ります。ほとんどすべての人は、誇る所、自分自身に栄光を帰す所、人の前で見せびらかす所を見いだすことができます。

② あご髭は、人の誉れを表徴します。人々は、彼らの地位、彼らの家庭環境、さらには彼らの靈性に関して、誉れを得ようとします。彼らは常に、他の人よりも上であるという優越感を持っています。

③ まゆ毛は、人の麗しさを表徴します。私たちは天然に良い点と強い点を持っています。それは神の救いを経験することから出て来たのではなく、天然の誕生から出て来ました。

④ 全身の毛は、人の天然の力を表徴します。私たちは天然の力、天然の手法と意見に満ちていて、

自分が主のためにこの事やあの事を行なうことができると考えたり、あらゆる事を行なう能力があると考えたりします。

⑤ 自己のすべての面が十字架の「かみそり」を通して対処されるとき、また私たちが何も持たず、無であるとき、私たちは清いのです。

⑥ 私たちはキリストのからだのために、十字架を通して、またその靈によってあらゆることを行ない、キリストを互いの中へと分与することによって、完全に自己を拒絶すべきです。

C) らい病の人は、七日間待って観察した後に、二度目に全身をそり、自分の服を洗い、自分の肉を浸しました。この事が表徴するのは、清められるべき罪人が、自分の天然の命と日ごとの歩みのあらゆる部分を対処する責任を負う必要があるということです。この事は、もし私たちが真剣に自分の罪と罪深い自己を、明確で、徹底的で、絶対的な方法で対処するなら、清くなるということを示しています。

III. レビ記第14章33節から57節の家は、私たちの真の家である召会を予表し、また家の中のらい病は、召会の中の罪と邪悪を表徴します。祭司は、主または主の代理権威を表徴し、家を検査することは罪定めするためではなく、いやしのための恵みです：

レビ14:36 祭司は、その患部をよく見に行く前に、その家を空にするように命じなければならない。…
39 祭司は七日目にまた来て、それを調べなければならない。その患部が家の壁に広がっているなら、
40 祭司は命じて、患部がある石を取り出し、それらを町の外の汚れた場所に投げ捨てさせなければならない。

A) 七日後に患部のある石を取り除くことが表徴するのは、完全な期間の監視の後に、もし召会の問題がなおも広がっているなら、その問題とかかわりのある信者あるいは信者たちは、召会の交わりから取り除かれ、外部者のように、汚れたものと見なされるべきであるということです。この事は、病が広がっていくのをくい止め、その病を除くために行なわれます。

B) 取り除かれた石の所に別の石を置くことが表徴するのは、他の信者たちを用いて、その空いた所を埋めるということです。別のしっくいとその家に再び塗ることが表徴するのは、主の恵み深い働きを新しく経験することをもって召会を新しくすることです。この事は、召会生活における新しい開始のために必要とされます。

C) らい病の患部が再び出てきた後、家を壊すことが表徴するのは、もし召会の状況が直らず、いやされ得ない点に達するなら、その召会は終わらされるべきであるということです。

D) もし召会が主の恵み深い働きを新しく経験することをもって新しくされた後、何の罪も広がっていないければ、その召会は清く、何の問題もありません。召会全体は、キリストの永遠に効力のある血と彼の永遠の生ける靈をもって清められる必要があります。それは、召会が完全に清くなって、神と人との相互の住まいとなるためです。

経験①: 怒り、自分を義とすること、他人を赦さないことを対処し、らい病の発症から救われる

らい病は外側の要因と内側の影響の両方から成ります。原因は外側からですが、その影響は内側です。らい病は、人の内側から出て来る重大な罪を表徴します。例えば、故意の罪、僭越の罪、決意して神に反対することなどです。

らい病は常に反逆から来ます。ミリアムは、神の代理権威であるモーセに反逆しました。彼女の反逆には理由があり、その理由とは、モーセがクシ人の女をめぐったことでした(民 12:1)。反逆の結果、ミリアムはらい病になりました(10 節)。

列王紀下第 5 章 20 節から 27 節で、エリシャのしもべゲハジは、エリシャの実行に対して反逆しました。エリシャは、らい病がいやされた異邦人ナアマンから、何も報酬として受けようとしませんでした。ゲハジが清められたらい病の人から贈り物を受けた後、ナアマンのらい病が彼に移りました。

ウジャ王は祭司職に関して神の規則に対して反逆しました。この規則によれば、王は祭司職にあずかることができませんでした。しかしウジャはこの規則に反逆し、彼の反逆の結果、らい病になりました(歴代下 26:16-21)。この三つの事例それぞれにおいて、らい病はまず反逆的な人の中へと入り、そしてその人の内側から出て来ました。

旧約によれば、らい病は、神の権威に対する、神の代理権威に対する、神の規則に対する、神のエコノミーに対する反逆に起因します。私たちはみな、神の権威に対して、…神の規則に対して、神のエコノミー全体に対して反逆したことがあると同意しなければなりません。…ですから、神の目に、私たちはみならい病になりました。

らい病は罪です。罪の第一の事例はサタンへの反逆でした。…サタンへの反逆の前に、罪のようなものはありませんでした。罪は反逆的な天使長ルシファーによって発明されたのであって、創造されたものではありません。

中高生編

らい病は、人の内側から出て来る重大な罪を表徴します。例えば、故意の罪、僭越の罪、決意して神に反対することなどです。墮落した人の内側には罪が住んでいますので、らい病の性質は人の内側にあります。

ミリアムはモーセの欠点を見たとき、競争心のゆえにモーセに反逆してらい病になってしまいました。ですかららい病の発症は、外側の環境と内側のらい病の性質の両方から来ます。

中高生であるあなたはらい病が発症しないように、自分自身に警戒する必要があります。短気を起こすこと、自分を義とすること、人を赦そうとしないことは、霊的ならい病のしるしです。

エペソ 4:26 怒ったとしても、罪を犯してはいけません。日が暮れるまで、憤ったままでいてはなりません。
27 また、悪魔に所を得させてはいけません。

怒り: あなたは短気の中に留まり続けてはいけません。怒りに留まり続けると悪魔に所を得させることになり、らい病が発症する可能性が高いのです。

自分を義とすること: また、あなたは自分だけを義とし、他人の交わりや感覚を退けてはいけません。私たちの人間性はバランスが悪いので、多くの場合あなたの感覚は偏っています。自分だけを義とする人は他の人から調整されることを拒絶することになります。自分を義とすることに留まり続けると、らい病の発症に至る可能性があります。

エペソ 4:31 すべての苦さ、憤り、激怒、わめき、ののしりを、すべての悪意と共に、あなたがたから除き去らせなさい。32 そして、互いに親切で情け深くあり、神がキリストにあってあなたがたを赦してくださったように、赦し合いなさい。

他人を赦さないこと: さらにあなたはあなたを怒らせた人を赦し、受け入れることを訓練してください。神はキリストにあってあなたを赦してくださいました。神に感謝します。あなたは主の恵みを取って、あなたを怒らせた人を赦し受け入れるべきです。

祈り: 主イエスよ、私の内側にはらい病の恐ろしい罪の性質が住んでいます。私には、「短気を起こすこと」、「自分を義とすること」、「他人を赦さないこと」がありません。これは私の肉の人がらい病人であることを示します。私は肉に従って歩くなら、らい病が実際に発症してしまい、大変なことになってしまいます。学校生活や家庭生活の実際的な事柄で、先生に反逆したり、両親に反逆することから救ってください。自分の霊を活用し、自分の罪を告白し、他人を赦すことを訓練します。らい病の発症という悲惨な状況から私を救ってください。

経験②: 内側のらい病の性質を対処し、主の証しのために、Going up のビジネス・ライフを送る

聖書で、さまざまな毛にはそれぞれの表徴がありません。頭髮は人の栄光を表徴し、あご髭は人の誉れを表し、まゆ毛は人の麗しさについて語り、全身の毛は人の天然の力を意味します。

あらゆる人は特定の領域において自分の誇りを持っています。ある人は自分の家柄を誇ります。ある人は自分の教育を誇り、ある人は自分の美徳を誇り、ある人は主に対する自分の愛の熱心さを誇ります。ほとんどすべての人は、誇る所、自分に栄光を帰す所、人の前で見せびらかす所を見いだすことができます。これは頭髮によって予表されます。

さらに、人々は、彼らの地位、彼らの家族環境、さらには彼らの霊性に関して、誉れを得ようとします。彼らは常に他の人よりも上であるという優越感を持っています。これがその人のあご髭です。

同時に、人はまた天然の麗しさ、すなわち、天然的に良い点と強い点を持っています。それは、神の救いを経験することから出て来たのではなく、天然の誕生から出て来ました。これは人のまゆ毛です。

最後に、人として、私たちは天然の力、天然の方法と意見に満ちていて、自分が主のためにこの事やあの

事を行なうことができると考えたり、あらゆる事を行なう能力があると考えたりします。これは、私たちの全身になおもとても長い毛がはえていて、私たちはそれをしていないことを意味します。

これらすべては外側の汚れではなく、私たちの天然の誕生の問題です。外側の汚れは水で洗われる必要があるだけです。しかしながら、私たち自身の天然の問題は、かみそりでそれなければなりません。それらは、十字架によって対処されなければならないことを意味します。この種の対処は深く厳格で、私たちの内側を傷つけ、多くの苦痛を与えます。

レビ 14:40 祭司は命じて、患部がある石を取り出し、それらを町の外の汚れた場所に投げ捨てさせなければならない。41 また、家の内側全体を削らせ、その削り落としたしっくい、町の外の汚れた場所に捨てさせなければならない。42 彼らは別の石を取って、それらを前の石の所に置き、彼は別のしっくいを取って、その家に再び塗らなければならない。

その家に再び塗ること(42 節後半)が表徴するのは、主の恵み深い働きを新しく経験することをもって召会を新しくするということです。

私たちは召会生活の中で新しい開始を持つ必要があります。それは、主の恵み深い働きを新しく経験することをもって召会を新しくすることです。…これは…新しい方法でキリストの豊富をもたらすことによってです。もし…ただ律法的に事を行なって、ある人を取り除き、他の人と置き換えるだけであるなら、これは召会を空にし、この空虚の中で召会はさらに苦しむでしょう。ですから、導く人たちはおそらく断食をもって祈り、召会がキリストの恵み深い働きを経験することにおいて、新しいものを受けようとする必要があります。そのとき召会生活は新しくされ、新しいしっくい再び塗られ、すべての肢体は新しくされた召会生活に対して幸いになるでしょう。

在職青年編

あなたはビジネス・パーソンとして、主と共に勤勉に働き、主が導かれるなら、主の証しのために出世してください。しかし、あなたはあなたの中の隠れた高ぶり、個人主義、金銭愛などの消極的なものを対処しなければなりません。そうでないと、あなたは高ぶりに満ちたらい病人になってしまいます。

I テモテ 6:10 というのは、金銭を愛することはあらゆる悪の根だからです。ある人はそれを熱望したために、その信仰から迷い出てしまい、自分自身を多くの苦痛で刺し通しました。

もう一方で、あなたの内側のキリストは復活し、昇天された方ですので、あなたはクリスチャンとして Going up の生活をすべきです。あなたが主のために、主と共に、主の中で、Going up のビジネス・ライフを送っているとき、主はあなたの内側の隠れた誇りや高ぶりを暴露してください。

ある人は自分の教育を誇り、別の人は、自分の家柄を誇り、ビジネス上の成功や実績を誇り、外観上の美し

さを誇り、あるいは天然の美德を誇ります。

I ヨハネ 1:7 しかし、神が光の中におられるように、私たちが光の中を歩くなら、私たちは互いに交わりを持ち、御子イエスの血が、すべての罪から私たちを清めます。

8 もし、自分には罪がないと言うなら、それは自分を欺いているのであって、真理は私たちの中にはありません。

9 もし、私たちが自分の罪を告白するなら、神は信実で義であられるので、私たちの罪を赦し、すべての不義から私たちを清めてくださいます。

あなたは主にあなたの心の中で隠れているらい病の性質を暴露して下さるように求め、暴露されたすべての罪を一つ一つ主の御前で告白してください。こうすることで、あなたはまた主と共に Going up する生活を回復することができます。

さらに、あなたは自分のらい病の罪に対処する必要があるだけでなく、らい病の人に対処する必要があるかもしれません。その時、あなたは律法的にらい病の人に対処するのではなく、主の御前に出て断食して祈り、霊的パートナーと交わり、対応すべきです。あなたは可能であれば、らい病の人が悔い改め、清められるように願うべきです。もちろん、彼らが清められるために、彼ら自身が、清められることを求める必要があります。

祈り: おお、主イエスよ、私は主の証しのために、主と共に Going up のビジネス・ライフを送りたいです。同時に、私は自分の肉の中にあるらい病の性質に警戒しなければなりません。そうでないと、いつの間にか情欲や金銭欲のための Going up にすり替わってしまいます。主よ、私の内側を照らしてください。主の光の下で照らされた罪を一つ一つ告白します。主よ、私は自分の高ぶり、優越感、誇りを告白します。私は肉に従って生きるのではなく、霊に従って生きたいです。アーメン！

詩歌 228 (英 280)

その霊の豊満—十字架を通して

1. 主よ、血しおにて われをあらい、
きよきあぶらを そそぎたまえ。
わがせいかつは 失ばいのみぞ、
れいに満たせや、主のため生く。
(復) ああ、主よ、自己より、解きはなちませ！
いまよりとわに 主を満たせや。
2. なんとかわきし われのこころ；
れいの満たしを せつにもとむ。
打たれたいわに われをかくし、
生けるみずにて、あふれさせよ。
3. 冷えたるこころ、にぶきあゆみ；
聖れいに満たせ、主にそむかず。
さい壇のうえに、わが身を置く；
主の火よ、くだり、焼き尽くせや。
4. 主よ、十字架にて さらに燃やせ、
われ、はいと化し、主、増すために；
日ごとその霊を 満ち満たせや、
生けるいのちを ながすために。